胸のしびれを切り裂いて

ATTACK ON TITAN MIKE x NANABA FAN BOOK

胸の
しじまを
切り裂いて

初めまして、東千暁です。
この度は当サークルの本をお手に取って下さり有難うございます。

今回は、ミケナナ帰還IFです。
普段ミケナナちゃんを甘やかしてばかりなので
ミケナナちゃんで描いたことの無い表情を沢山描きました。

楽しんで頂ければ幸いです。

2015/1/11　東千暁

右脚の処置が最優先だ!!

すぐに輸血の準備を!!

血がッ

血が止まらないッ

手をかせる者はこっちに!!

ガタッ

ガタッ

ガタッ

ガタッ

痛い

痛いッ

痛いッ

痛い

はあッ
はあッ
はあッ
はあッ
ミケッ!!

どうだい？
調子は

うん
だいぶ
馴染んできたよ

ギシッ

ギギッ

走ると少し
痛いけど

摩擦はどうしても
起きてしまうね

次の調査も
一カ月後だし

でも
君が非戦闘員として
残ってくれて助かってるよ

現役兵のサポートも
人手が足りていないから

……うん

ふう……

トーン

トーン

コンコン

ガチャッ

ナナバ

おかえり

訓練、お疲れ様

次の班割りの提案書、できてるよ

ああ、悪いな

こんなことまで頼んで

ガタッ

気にしないで

メンテ、どうだった？

うん 問題ないよ

スッ…

大丈夫か？

ボクは…

大丈夫だよ

チャプ…

チャプ…

チャプ…

すごく
怖い
ドサッ
ポロッ
うん
怖いね
ドサッ

痛いッ

痛いッ

痛いッ!!

ドーン
ドーン
ドーン

ぎゅ
……ドン
うぉ うぉ うぉ うぉ
うぉ うぉ うぉ うぉ うぉ うぉ

…んっ
はぁ…
はぁ…
はぁ…
ミケ
どうしたの？
ッ
ミケ
ネ…

ミケ…

ミケ

こっち向いて

ボクは
ここに居るよ

此処だ

いるから

休んでるよ
また全快って訳じゃねぇんだろ
歩き方もリハビリが順調だった時と比べてぎこちない
擦れて痛いんじゃねぇのか？
よく見てるねぇ兵士長さんは
ごまかすんじゃねぇ
ミケが原因か
せめて、壁の中では心を休められるようにしたいんだ

壁外の怖さをどうにかしてあげることはもうできないから

あっ

書類出来た？

エルヴィンに渡してくるよ

リヴァイもちゃんと寝なよ

隈ひどいよ

じゃまたあとで

ゴ
ガ
部屋から見えたから
…一緒に居てもいい？
ギギ
ああ、おいで
スッ…

ミケ
怖い？

……

はい

ん

今まで壁内に残された人の
気持ちをあまり考えたことが
無かったんだ

自分の身を守るのにいっぱいで、
守りたい人は一緒に外に出ていたし

いざ壁内に残されてみると
自分の出来ることに限りが
ありすぎて

どうすれば皆の不安を
取り除くことができる？

思いつく限りの
ことをしても

同じ壁外に立つ人間じゃないと
なんの説得力も無いんじゃないかって

ナナバ、
お前はよくやってる

本来なら退団しても
誰にも咎められない程の傷だった

…なぁ

カパッ
…え？
…？
お前は
ウォールシーナに
移れ
ドッ
…なッ
…んで…ッ
俺は片目をなくした
時期にもう片方の視力も落ち
兵士では居られなくなる
そうなったら、一緒に暮らそう
それまでは安全なところに…

…いやだ

その身体で何が出来る!!

見えなくても

ギュッ

兵団のためにできることは沢山ある

俺はまた壁外に行くことが怖いんじゃない

ッ!!

守るべきだと思っていたお前を最早安全とはいえない

壁内に残して行くのが怖い

誰が守るんだ

自分の身を守るくらいならできるよ

リハビリを続ければ、万が一また壁内に巨人が現れても

街の人の避難誘導くらいはできるかもしれない

ボクも…

私も、まだ兵士として何かをしていたい

何かしていないと
おかしくなる・・・ッ

ハ
ハ
ハ

カラン…

ん…ふッ

…あッ

カチャ

カチャ

ふう…

んっ…あっ

ニチュッ

ん…はぁッ

ふう…あ

チュクッ

はぁッ…

チュクッ

んッ

あっ

ゾクッ

ゾクッ

はッ

あ、

んう…ん

ゾクッ

ゾクッ

はぁ
はぁ
はっ
ふぁッ
んっ…ふ
ふぁッ
んっ…あ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
んっ
はっ…あ
はぁッ
あっ…

あっあっ
はぁッ
はっ
んっあッ
あっ…ん
んあッ
あッ
はっ
はっ
はぁ…ッ
はぁッ
あッあッ
はぁッ
はぁッ
あッ
あッ
あ

んっ…
はぁッ
ドクッ
ビクッ
ズンッ
ビクッ
あッ
あんッ
ビクッ
んあッ
ビクッ

はッ
あッ
あッ
はぁッ
あッ
ふっ…あ
はぁッ
あぁッ
あっ
んぁッ
あッ
あっ…ぁぁ
あッ
あ…あんッ
はぁッんッ
あ…ッ
はぁ
はぁ
あッ
はっ
んっ
あっ
あぁッ
はっ
はぁッ
あぅッ
はぁ
あッ
はぁ
あッんぁ
んぁッ
あッ
あッ
あっ
はっ
ガク
ガク

パンッ
んぁッ
あんッあッ
パチュッ
はぁッん
あぁッ
パチュッ
パチュッ
パチュ

んむっ
んぅッ
はぁッ
あッ
あッあぁッ
んぁッ
ああッん
うんんッ・・・んんッ
んっんんッ
んぁッ
ああッ
ふああッッ

はぁ…

はぁ

はぁ

はぁ…

開門準備!!

ミケッ

ナナバー

危ない
下がっていろッ

ミケッ

私は
大丈夫だからッ

はぁ

大丈夫ッ

はぁ

だからッ

はぁ

…あぁッ

ギュッ

胸のしじまを切り裂いて

■ 発行日　2015/1/11
■ サークル　END
■ 発行者　東千暁
■ Mail　joy.azuma@gmail.com
■ Twitter　0i0i0i0i0i0i0
■ Pixiv　4784713
■ 印刷　金沢印刷様

本書は非公式ファンブックです。
無断転載、転売、不正アップロードなどはご遠慮ください。